

「若い目(宮崎日日新聞)」に掲載されました。



©MIYAZAKI DAIICHI
Unauthorized reproduction prohibited

2018
February
19

宮崎日日新聞の「若い目」に高校文理科3年生 吉村あいなさん(宮崎第一中学校出身)の作文が掲載されました。



悲しみも成長に

宮崎第一高3年

吉村あいな

高校生になり、人の心に触れる機会が格段と増え、個人が抱える悩みを聞くようになった。今の自分では解決策が見つからず、自分の無力さを思い知った。まずは視野を広げようと思い、人との会話の時間を大事に日々を過ごしている。

幼い頃から思うことがある。なぜ、いじめは絶えないのだろうか。私自身この疑問の答えはまだ見つけていない。しかし、答えを導くために考え続けることが大切だと思う。私が探求心を持って学ぶことをやめなければ困って

いる人を救うことができるかもしれない。悩んでいた人が少しでも前に進むように姿を目にした時、この上ない幸福と達成感を感じるだろう。

17年間を振り返ると、出会えて良かったと思える人が何人も頭に浮かんでくる。落ち込んでいた時に友達の言葉に励まされたことがある。悲しみさえも成長できるチャンスだと前向きに考えられるようになった。いつか誰かの人生にとってかけがえのない人になりたい。

(宮崎市)

新聞掲載